

モーツァルト・サロン会報 NO.91

第91回 モーツァルト・サロン コンサートシリーズ
「東京混声合唱団のメンバーによるファイナルコンサート」特集
2025年2月23日号



写真左から
小林音葉 (A)、佐々木武彦 (B)
平野太一朗 (T)、大沢結衣 (S)

♪旅立ちの日に

写真右から
尾崎修 (T)、松崎ささら (S)
牧山亮 (B)、志村美土里 (A)

ご挨拶

少しずつ春の足音が聞こえる今日この頃ですが、皆様お元気で過ごしてでしょうか。今回は最後のお便りをお届けします。

さて、2月23日(日)14:00より「東京混声合唱団のメンバーによるファイナルコンサート ピアノ：魚谷絵奈」が開かれました。

コンサートシリーズが2010年9月23日にスタートした時のコンセプトは若手演奏家の発表の場を提供するというものでしたが、ラストは創立69年の東京混声合唱団(以下は東混)のメンバーにお任せしました。

今回は東混の秋島光一(元テノールの団員)さんの司会で優しく楽しく進行して頂きました。そして、世界で一番有名な合唱曲「ヘンデル：ハレルヤコーラス」が高らかに歌われて幕開けとなりました。2曲目はヘンデルと同じ年(1685年)に生まれたバッハの「カンタータ147番より 主よ、人の望みの喜びよ」。いつ聴いても美しいコーラルが歌われました。次はルネッサンス時代のフランスの作曲家「クレマン・ジャスカン：鳥の歌」です。様々な鳥の鳴き声を用いて作られていますが、それは、その当時の宮廷の人たちの性格や特徴を面白おかしく表しているようです。そのユーモラスな鳴き声にお客様からは笑い声が起り、和やかな雰囲気になりました。続いて、「チマッティ神父様：アヴェ・マリア」。イタリアから日本に宣教師として派遣されたサレジオ会の神父様は、戦前から戦後にかけて、貧しかった日本の青少年のために溢れるほどの愛を以て教育を施しました。この静かな祈りの曲の次は、復活祭を祝うモーツァルトらしい喜びに満ちた「モーツァルト：レジーナ・チェリ KV108 第1曲目」が歌われました。秋島さん曰く、「ここまでのステージではヨーロッパの音楽をお聴き頂きましたが、ヨーロッパの文化にキリスト教がとても大きな影響を与えているというのは感じられたことかと思います」。今年の復活祭は4月20日ですが、2カ月前にその喜びをお届けしました。

次のステージは日本の歌を集めました。1曲目は「日本古謡、武満徹 編曲：さくら」。秋島さんからこの曲にまつわるお話がありました。「武満さんが日本の音楽使節団として訪中した時、日本の古い歌などを歌って下さったそうですが、残念なことにいい編曲がありませんでした。そこで武満さんが「僕が作ってあげるよ、というようなことを言ってしまったそうです。私共の指揮者田中信昭は春が来る度に「そろそろ桜の季節になりました」と何回か電話をして、大変忙しい武満さんも2、3年目の時に観念してといますか、東京混声合唱団にプレゼントして下さいました」。アカペラで生まれる究極の響きが会場を満たしました。2曲目は「谷川俊太郎 作詩、武満徹 作曲、林光 編曲：死んだ男の残したものは」。日米安保条約締結に対するデモや集会が開かれたり、ベトナム戦争のさなかでもあった時代に作られた、「反戦」への強烈なメッセージとなっています。これを聴いて涙するお客様が沢山おられました。どんな雄弁な演説もたった6分間のこの曲の持つ力には適わないでしょう！ドラマティックで、説得力のある感動的なこの演奏を聴くと、世界中が平和になるようにと祈らざるを得ません。続いて、「江間章子 作詩、團伊玖磨 作曲：花の街」。ここで秋島さんのお話をご紹介します。「團伊玖磨さんはこの詩の中に江間章子さんの祈りが込められていると感じ、日本中の街が花に満ちた美しい街になるように願って書いたそうです。それは今も世界中の戦争の爪痕の沢山残る場所に於いて、同じように祈られるべきではないでしょうか。加えて災害で被災された方へ復興への祈りも捧げたいと思います。このステージ最後の曲は「吉丸一昌 作詩、中田章 作曲、林光 編曲：早春賦」。まるで「合唱とピアノのためのコンチェルトーモーツァルト風」のような編曲ですが、モーツァルトの生地・ザルツブルクで勉強された魚谷さんの美しい音が紡がれるピアノのカデンツも聴き応えがあり、華やかに前半が終了しました。

後半はスタジオ・ジブリの曲から3曲。一曲目「となりのトトロ」が若林千春氏の立体的で凝った編曲で歌われました。途中で雨傘を持ったトトロが現れ、ヴォイスパーカッションを鳴らし、お客様に大いに受けていましたが、それは秋島さんでした(笑)。2曲目の「いつも何度でも」は『千と千尋の神隠し』の主題歌です。同じく若林氏による編曲で歌われましたが、原曲よりもずっと美しかったです。3曲目は、憂いのある日本人好みの旋律「君をのせて」が歌われました。

続いて全国の小中学校でよく歌われている曲を2曲。まずは「ビリーブ」ですが、1998年に発表されて以来、大変人気のある曲で、「当時歌っていた人たちが大人になって、一つの歌が次の世代に歌い継がれ、一緒に歌うことができるのは、幸せなことだなと思っています」と秋島さんからのお話がありました。次は、「旅立ちの歌」。今では卒業式には欠かせない歌が感動的に歌われました。

プログラム最後の曲はウィナーワルツと言えばこの曲「美しく青きドナウ」。ウィーンフィルの演奏で踊る美しいバレリーナを思い浮かべながら心を躍らせました。明るく華やかな演奏には、お客様から盛大な拍手が送られました。

アンコール1曲目は「伊藤美保子 作詩、作曲、首藤健太郎 編曲：はみがきダンス」。はみがき嫌いだった当時2歳の孫息子のために書いた曲です。魚谷さんは何やら歯医者さんの格好をして登場し、団員の皆様もノリノリで楽しく歌ってくれました。編曲が素晴らしく、特に間奏が楽しくお客様からは笑いが生まれました。そして、歌い終わったと思いきや、可愛い1歳半の「こころ」ちゃんが大きな歯ブラシを持って「はみがきダンス」を踊りました。ママの青木沙耶花ちゃんに抱っこされています。彼女は音大生の頃から今に至るまでスタッフとして支えてくれましたが、ママになったというのが、コンサートシリーズの歴史の長さを物語っております。お客様からは「可愛い！」というお声と手拍子が生まれました。「これでお別れなのは寂しい所です、本当に最後にもう1曲お聴きいただきたいと思います」というお言葉でアンコール2曲目「星に願いを」が歌われました。

徹底したサービス精神と磨き抜かれた技術と伝統で綴られた東混の皆様演奏で、感動と涙あり、笑いありの圧巻のファイナルコンサートが幕を閉じられました。そして、終演後のセレモニーでは、もう1曲「思い出のアルバム」が歌われました(涙)

長い間、出演された演奏者の方々、お客様に心よりお礼を申し上げます。さようなら……

一般社団法人 国際育英文化協会
代表理事 伊藤美保子

アンケート集計結果 ご協力ありがとうございました。

東京混声合唱団さんへ激励のメッセージをお願いします。

- ♪すばらしかったのひとつです。リーダーの方の立ち居ふるまいがとてもあたたかく、見ていてうれしかったです。歌だけではないマナーの美しさも、司会の男性の上品で楽しい司会ぶりも、すべてが素敵でした。全体のバランスも良かったです。場所が変わるのも、客席から見える方がかわるので 良かった。歌うだけでなく、一人ひとりのメッセージもよかったです。「東京混声合唱団」の演奏を生で聴くのは初めてで、すばらしいと思いました。
- ♪美しい声、美しいハーモニー、面白い編曲、楽しい演出楽しめました。すばらしかったです。
- ♪感激しました。
- ♪アカペラからずっと鳥肌が立ちっぱなしでした。美しいハーモニーに感動いたしました。すてきな歌声をありがとうございました。
- ♪とても素晴らしかったです。感動しました。私も娘もジブリが大好きなので、歌っていただき、とても嬉しかったです。
- ♪これからも美しいハーモニーを奏でて下さい。
- ♪こんなにあたたかい空間の中で皆様の声を聴くことができとても幸せな時間でした。また、コンサートに行ってみたいと思います。感動の涙をありがとうございました。
- ♪寒い日に美しい歌声、あたたかい気持ちになりました。小品ではありますが、混声で重みのある素晴らしい歌声でした。
- ♪美しい歌声有難うございました。
- ♪とても楽しい時間でした。ありがとうございました。
- ♪素晴らしい演奏をありがとうございました。全ての曲が美しすぎて、皆様の演奏に全身を委ねることができました。大満足です。まだまだ聴き足りないので休憩時間中にAmazonでCDを購入しました。明日からまたCDを聴いて皆様の音楽で満たされようと思います。今日は素敵な時間を共有できて、本当に嬉しかったです。また別の機会に演奏を必ず聴きに行きます。
- ♪素晴らしい時間を有難うございました。又の機会を楽しみに過ごしていきます。涙ぐんでしまいました。
- ♪いつもながらの歌声、ハーモニー、バランスの素晴らしさにすっかり引き込まれてどの曲も心に響き、感動致しました！また、是非皆様の歌声を聴けますように願っております。
- ♪美しい出だし、歌い尻の美しさ、繊細なピアノと壮大な盛り上がりどころの圧巻、サントリーホールに続いての2度目の拝聴でしたが、素晴らしく、人の声でありながら、その究極の洗練、命の燃えるような響きに改めて感動いたしました。どの曲もその想いでしたが、特に「死んだ男の残したものは」は涙が出ました。楽器とのちがいはやはり「言葉」があるということ、力のある珠玉の詩をそのまま、さらに深めて聴く音に伝えてくださるのが歌だなと…実感いたしました。またぜひお聴きしたいです！素晴らしい時間をありがとうございました。
- ♪美しい歌声が心に響きました。これからも美しい歌声を世界の人々へ届けてください。ありがとうございました。
- ♪高い音と低い音の重なりが、とてもきれいでした。私の知っている曲が驚くほど美しい声で歌われていて、とても感動しました。私も学校で歌うときに、美しい歌い方を参考にしたいと思いました。
- ♪素晴らしい演奏会を拝聴し、感激、感激、しばらく興奮が収まりませんでした。前列でお聴きしましたので、演奏の方の一人一人のお声を聴き取ることができました。プロの方々の歌唱力の素晴らしさに感じ入りました。
- ♪本当にいいコンサートで、あれほどまでに合唱が美しいと初めて気が付きました。



「ハレルヤコーラス」
昔、王様が感激の余り、立ち上がりましたが、
今日はお座りになってお聴きください。



「主よ、人の望みの喜びよ」
世界一美しいコーラル。



「アヴェ・マリア」
敬虔な祈りの曲が流れました。



「死んだ男の残したものは」
戦争の悲惨さを痛切に物語っている曲に
あちらこちらで涙が…。



「花の街」
復興に向けて希望の光が見えます！



「早春賦」
魚谷さんの圧巻のカデンツ！

魚谷絵奈さんへ激励のメッセージをお願いします。

- ♪ピアノの音一つひとつ輝きがあり、生きている、と感じました。とても美しかったです。どういふふうに練習すると、あのような音が出せるのだろうか？と思いました！！はみがきダンスの時の白衣を着られたのは面白かった！！
- ♪素晴らしい演奏をありがとうございました。幸せな時をありがとうございました。
- ♪優しいタッチで演奏される方だと思いました。人の心を穏やかにさせるメロディーをこれからも奏でて下さい。
- ♪心にしみるピアノ演奏ありがとうございました。合唱団のみなさんとの息もぴったりで歌声をさらに引き立てる演奏でした。
- ♪伴奏も素晴らしいですが、相変わらず美しい。
- ♪素敵なピアノでした。ありがとうございました。
- ♪本当に素敵でした！！上品で結晶のように粒のそろった美しい音で、8人の歌手をこんなにも完璧に支え、包み込むのが伴奏というものなんだな、と感じました。ところどころでピアノが主役のように華やかに響く前奏などがあると、とても嬉しくいつまでも聴いていたいと思ってしまいました(笑)
- ♪きれいな音で、ずっと聴きたいと思いました。ありがとうございました。
- ♪普段のピアノソロのコンサートのときよりも、合唱団の方々の歌声を引き立たせるような弾き方をされていて、流石だなと思いました。少しおさえて弾きつつも、上手に演奏されていて、すごいなと思いました。
- ♪アカンパニストの安定感は歌手には何よりの安心を与えることと存じます。全体のバランスが素晴らしく、いつまでも聴いていたい思いでございました。今後のご活躍をお祈りしております。

モーツァルト・サロンへのメッセージ

- ♪私もピアノを大人になってからはじめてので、今度弾き合い会に参加させていただきたいと思いました。その時はどうぞよろしくお願い致します。
- ♪私の教員人生の最初の年からクリスマス会のフィナーレは「ハレルヤ」でした。何十年も生徒と一緒に。(本日は)真っ先にハレルヤを歌って(心の中で)感動でした！！チマッティ神父様は調布の修道院に眠っておられます！！伝統的な歌と比較的新しい歌があって、どちらもすばらしかった。「人の望みの…」は私が修道院に入って間もなくコンサートでできて印象深かった曲で、私の人生の節目を駆けめぐった感のあるプログラムで、感動が大きかったです。ありがとうございました。
- ♪サロンのスタッフの方々のあたたかなお心遣いは、関わられている皆様のご家族のような結びつきにあるのですね。演奏会後のイベントで、そのことを深く思いました。どうぞ皆様お元気で活躍なさいますよう、お祈り申し上げます。本当に有難うございました。
- ♪赤羽においてアカデミックな場所でした。コンサートが終わってしまうのが寂しいです。今までどんなに大変だったかとお察しいたします。とても感謝しております。

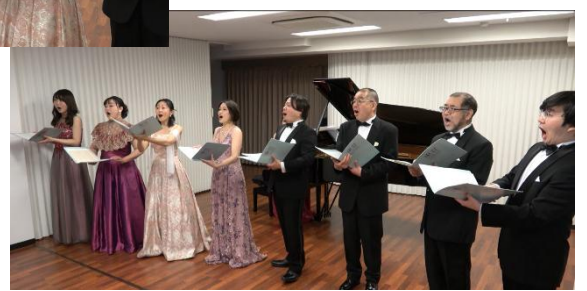
《アヴェ・マリア》《早春賦》《はみがきダンス》は「モーツァルト・サロン 赤羽 YouTube」でご覧いただけます！！



「旅立ちの日に」
感動的な卒業式の場面が目には浮かびます。



「となりのトトロ」
トトロが出現してパーカッションを奏でました。
尾崎君はイナバウアー？



「美しく青きドナウ」
音楽の都を彷彿とさせる華麗な曲でフィナーレ。



「はみがきダンス」
可愛いころちゃんに会場が沸きました。
ころちゃんは、はみがきが大好きです。



最後に飾るに相応しい素晴らしいコンサートでした。
「みんな、ありがとう！！！」

モーツァルト・サロンコンサートシリーズ終演を迎えて

2010年9月23日(木・祝)に「原田絵里香ピアノリサイタル」で幕を開けた日からもう14年5カ月という年月が経ち、本日(2025年2月23日)のコンサートで幕を閉じることになりました。

これまでご来場頂きましたお客様方には心より感謝を申し上げます。

大学院を卒業したての原田さんの熱演から始まったこのシリーズですが、演奏者の皆様の音楽への真摯な向き合い、情熱等を思い返すと感動で胸がいっぱいになります。音楽という厳しい道を歩み始めた皆様との関わりの中ではいつも出来る限りのサポートをしようと努めて参りましたが、思い返せば至らない所も多々ございました。どうかお許し頂きたいと思えます。

5周年、10周年記念の思い出はホームページに載せておりますので、2020年からの思い出を述べたいと思えます。

2020年と言えば、「コロナ禍」で多くのコンサートが延期という憂き目にあいました。この頃、当サロン縁の三井静(Vc.)さんがSNS上で「演奏がしたい！！！」と発信していました。この言葉が心の叫びのように感じて、胸に突き刺さりました。そして多くの演奏者が活躍の場を奪われている時こそ、何とか当サロンも勇気を出してささやかながらも演奏の場を提供して行かなければならないと決意を新たにしました。

「緊急事態宣言」は突然発令されることが多かったので、演奏者の皆様は予定を立てられない状態でさぞかし不安だったと思えます。でも、延期のお知らせをすると皆様は「それは仕方がないです。中止よりもずっといいです。」と理解を示して下さり、救われた気持ちになったことを思い出します。それまで開催日はだいたい2カ月おきでしたが不規則になりました。開催日の間隔が大幅に空いたり、延期した公演がたまって毎月のように開催したこともありましたが。当日は体温測定、マスク着用、アルコール消毒に加えて、お客様の人数を減らすためにソーシャルディスタンス席を作りました。また、温かい飲み物の提供はやめ、ペットボトルの水を配布しておりましたが、再開できたのは2023年5月28日からでした。スタッフとして久々にお客様とのコミュニケーションができて、嬉しいひとときになりました。

2020年9月27日「モーツァルト・サロン10周年記念 佐藤卓史ピアノリサイタル」が開かれたのはコロナ禍のことでした。チャイコフスキー、ブラームス、ショパンの作品10の曲を集めてのプログラムでしたが、特にショパンの10はエチュードでしたので大変な熱演でした。

2020年12月20日「永井公美子&根津理恵子デュオリサイタル」は2度の延期を経て開催されたこともあり、コンサートを聴ける喜びと演奏できる喜びが相俟って、感動的なコンサートになりました。この時に永井さんがコンサートで語った言葉があります。「今日は何で緊張するんだろう。1年以上前にリサイタルをやったきりで他はイベントや〇〇会のようなもので演奏していたのでリサイタルという高揚感と引き換えにこういう思いをするんだと思えました。私たちはパンデミックが起こると、いなくてもいい存在で、薬にもならないしお腹も満たされないのです。でも今日皆さんに集まって頂いて、私たちは弾いていていいんだと思えました。そしてお客様と真摯に向き合って行きたいと思っております。」

2021年7月17日「山口友由実ピアノリサイタル」。満員御礼になったこの日、お客様は山口さんが奏でる優しい音楽と共にあり、ピアノニッモ、休符の美しさも分かち合っていました。「シューベルト:D.780楽興の時」の名演は忘れられません。当時、山口さんはグラーツ国立音楽大学弦楽器科コルペティウールでしたが、その年の10月からは母校のウィーン国立音楽大学でコルペティウールとして終身雇用で就任されました。

2023年7月9日「北村明日人ピアノリサイタル」。すでに国内外のピアノコンクールで沢山の受賞歴のある大型新人さんでした。この日はベートーヴェンとブラームスの、ご本人曰く地味なプログラムでしたが、美しい音と圧倒的な表現力で奏でられる演奏はお客様を魅了しました。そして、2024年も出演して頂きました。もっともっとオファーしたかったのですが…。

2024年10月13日「根津理恵子ピアノリサイタル〜ワルツ全10曲で迎えるショパンの足跡〜」は出版されている楽譜の順番とは違い、作曲された順番でショパンの生涯を辿って行くという興味深いプログラムで大盛会になりました。真珠のような美しい音色、独特の理恵子節で奏でられるショパンに沢山の拍手が送られました。

これまで予定していたコンサートはコロナ禍で何度か延期になることはありましたが、事故もなく全て無事に開催されました。これは演奏者の皆様がいままで健康でコンサートに誠実に向き合ってきたことと、お客様のご協力の賜物だと思います。

また、皆様は音楽界で確固たる地位を築いており、音楽雑誌に様々な記事が載っているのを見かけることが多くなったことは嬉しくもあり、誇らしくも思っております。音楽と出会ったことで幸せな人生になったと思えるようになって欲しいと思えます。ご出演ありがとうございました。

スタッフは主に音楽大学の学生さん又は卒業生の皆様で、音楽のこともコンサートのこともよく分かっておりますので、とても信頼でき、お客様からも好評でした。特に「青木沙耶花」さん、「山崎友里」さんは学生時代から今日に至るまでお手伝いをしてくださいました。嬉しいことに、ここでのご縁でピアノユニット「ごぼう」を結成して活躍中です。

調律師の鈴木良さんはいつもの若い演奏者の皆様に優しく寄り添い、ご要望にお応えして頂きました。また、当サロンの3台のピアノの購入からメンテナンスまでお世話になっております。これからもよろしく願い致します。

今までコンサートシリーズに関わられたすべての皆様に申し上げます。本当に本当にありがとうございました！！

一般社団法人 国際育英文化協会
代表理事 伊藤美保子



お問い合わせ：一般社団法人 国際育英文化協会

〒115-005 東京都北区赤羽1-54-5メトロAIビル5F

TEL：03-5939-9535（営業時間：平日9：00～17：00）

ピアノ教室、ピアノ弾き合い会は今後も継続いたします。

